

物をたいせつにする心を育む

おもちゃ病院×かえっこ開催

市役所新館6階の市民サロンで2月13日、ボランティア団体による「おもちゃ病院×かえっこ」が開催されました。

「壊れたおもちゃを元通りにするのではなく、少し手を加えることで、丈夫にすることができ、説明書がないので難しいけれど、それもまた醍醐味」と語るのは、おもちゃ病院の先生を務める波多江さん。

おもちゃを修理してもらった子どもたちは、大事そうに抱え、喜んでいました。



毎回、多くの親子が訪れる。中には市外から訪れる人も

食事の礼法などを学ぶ

一貴山小学校6年生「お膳座り」

「ご飯を食べるときは、正座さえしていればいいと思ってた」「これからはすてきな大人をめざしたい」と語るのは一貴山小学校6年生の子どもたち。

礼法や箸の持ち方、食事の仕方などを子どもたちに教える「お膳座り」が2月23日に行われました。指導するのは日本礼道小笠原流煎茶社中の蘇木先生ら5人。

もうすぐ卒業を迎える6年生たちは正座の苦痛に耐え、懸命に食事の礼法を習得していました。



礼儀正しい食事に、緊張の面持ちの子どもたち

点字ブロックを再確認

人権擁護委員との懇談会

2月18日、市役所で点字ブロック調査に伴う関係者と人権擁護委員の懇談会が開催され、調査報告などが行われました。

点字ブロックは、視覚障がい者にとっては、移動の道標となるたいせつなもの。破損や未設置は、日常生活に大きな影響があります。

市内には、点字ブロックが摩耗や破損、未設置などの場所があり、また、点字ブロックのそばに物が置いてあるなど、行政側の整備・広報などの対応が求められました。



人権擁護委員と行政やJRなどの関係者で、熱心に意見交換が行われた

留学生と一緒に人形作り

糸島市国際交流協会

糸島市国際交流協会は2月27日、こらほ糸島で、市民と留学生と一緒に、手作り人形を作る国際交流サロンを開催しました。

講師は、国際交流協会の松尾正治さん。松尾さんは少年野球の指導のほか、人形作りや折り紙もするなど多才。友好都市である中国青浦区にも手作り人形を寄贈しています。

人形は、糸島の海辺の貝殻を使ったもの。留学生と参加者は、互いに相談し合いながら作業を行い、和気あいあいの国際交流となりました。



参加者も留学生も笑顔がいっぱいの国際交流会となった

友情や経験は永遠の宝物

ドリームトレイサー2010閉講式

ドリームトレイサー2010の最後の講座を2月19日から20日にかけて瑞梅寺山の家で開催しました。

1日目は、井原山登山に挑戦。苦戦しながらも元氣いっぱい雪山登山を楽しみました。2日目の閉講式では、修了証書が一人ひとりに手渡され、1年間の思い出を振り返りました。

この1年間で経験したことや仲間との友情は永遠の宝物。大きく成長した子どもたちは、それぞれの夢に向かって歩んでいきます。



積雪のため頂上まではたどり着けなかったが、みんなの友情は深まった